

ポートフォリオは大学教育の質向上に貢献できるか？

■講師



藤本 元啓

(金沢工業大学 入試部長 基礎教育部 修学基礎教育課程 教授)
皇學館大学大学院文学研究科博士後期課程(国史学専攻)修了後、皇學館大学史料編纂所研究嘱託、熱田神宮学院講師、皇學館大学非常勤講師等を経て、2002 年より現職。専門は初年次教育・日本中世政治史・軍事史など、多方面に造詣が深く、最近の主たる研究テーマは、初年次教育の授業法、ポートフォリオに関する実証的研究など。



栗田 佳代子

(東京大学 大学総合教育研究センター 特任准教授)
東京大学大学院教育学研究科修了後、カーネギーメロン大学 Visiting Scholar、大学評価学位授与機構研究開発部准教授等を経て、2012 年より現職、博士(教育学、2002 年、東京大学)。現職では、大学教員を目指す大学院生を対象とした「フューチャーファカルティプログラム」を担当。専門は教育・心理統計、ファカルティ・ディベロップメント、教員評価。P・セルディン氏に師事し、ティーチング・ポートフォリオ、アカデミック・ポートフォリオの”正しい導入”について、ワークショップ開催や翻訳、講演等を通じた実践的な研究を行っている。



吉田 一恵

(愛媛大学 総務部人事課 課長(危機管理室 副室長兼務))
愛媛大学法文学部法学科卒業。愛媛大学理学部、医学部、農学部、研究協力部、国際交流センターで主に総務、国際交流を担当、広報室副室長(命室長)、広報室長を経て現職。広報室時から現在まで危機管理室副室長を兼務し、記者会見等を所掌、報道対応マニュアル等を作成、現在は、特に人権侵害事案に対応すると共に人材育成(SD)に取り組んでいる。

司 会：佐藤 浩章(愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長・准教授)

■プログラム概要

大学教育の質向上のツールとして、ポートフォリオが注目されています。ポートフォリオとは、持ち運びできる(portable)二つ折りの紙(folio)という語源があり、学習内容をまとめる書類入れ(ファイル)のことを意味します。

学生の学習内容については学習(ラーニング)ポートフォリオがあり、量的な測定がしにくい判断思考、技能、態度といった能力の測定ツールとして、日本の大学にも普及し始めています。教員についてはティーチング・ポートフォリオ(教育業績記録)もしくはアカデミック・ポートフォリオがあり、教員の教育業績もしくは全般的な業績の厳選した記録として、FD や業績評価ツールとして導入する大学が増えています。こうした考えを職員にも応用したものとして、スタッフ・ポートフォリオがあり、SD、キャリア開発、業績評価ツールとして導入している大学もあります。

SPOD では、これまでもポートフォリオを重視しており、教職員向けのポートフォリオ作成ワークショップを何度も開講してきました。

本シンポジウムでは、まず 3 人のパネリストに実践事例の提供をしてもらいます。学習ポートフォリオについては藤本氏、ティーチングならびにアカデミック・ポートフォリオについては栗田氏、スタッフ・ポートフォリオについては吉田氏にお話いただきます。

後半部分では、ポートフォリオの意義、効果、普及方法について、パネリスト同士の討論を中心に進めていきます。参加者各人がポートフォリオの自分なりの意義づけができるようになることを目指します。また当日は、携帯電話やパソコンからのメールでも意見を受け付け、IT 機器を使ったインタラクティブなシンポジウムを作る試みも行う予定です。

■日時・会場・受講定員

日 時：平成25年8月22日(木)15:30～17:45

会 場：愛媛大学 城北キャンパス 南加記念ホール

定 員：220名